

「*REG*遺伝子発現による がんの予後診断法の実用化と 治療薬のグランドデザインの確立」



代表研究者：高沢 伸（奈良県立医科大学教授）
 共同研究者：菅原 明（東北大学大学院医学系研究科教授）
 海野 倫明（東北大学大学院医学系研究科教授）
 那谷 耕司（岩手医科大学薬学部教授）
 広中安佐子（奈良県立医科大学講師）
 野口 直哉（東北大学大学院医学系研究科助教）
 研究スタッフ：池田 崇之
 共同研究企業：株式会社 日本遺伝子研究所（宮城県）
 株式会社 江東微生物研究所（東京都）
 株式会社 大鵬薬品工業（東京都）

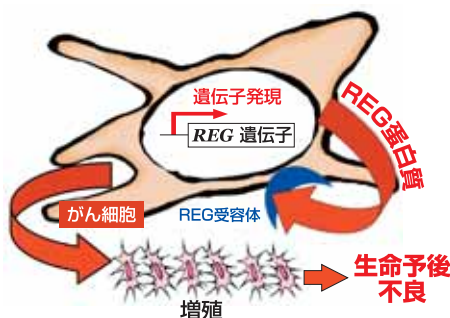
研究概要

本プロジェクトでは、胃がんや大腸がんなどの消化器がんで、細胞増殖因子*REG*をコードする*REG*遺伝子が発現するとがん患者の生命予後が悪くなるという新規知見に基づき、*REG*遺伝子の発現を指標としたがんの予後診断法の実用化と、がん組織での*REG*遺伝子発現抑制による新しいがん治療薬のグランドデザインの確立を行う。具体的には、（1）患者のがん組織での*REG*遺伝子発現を対象とした検査方法の実用化の研究と（2）*REG*遺伝子発現抑制薬の基礎となるリード化合物を開発により、新しいがんの診断法の実用化と新規治療薬開発への道を拓く。

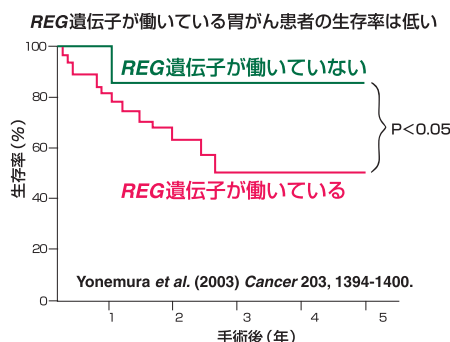
期待される効果

本研究により、がん組織の*REG*遺伝子発現をがん治療開始時に正確・迅速に知ることが可能となり、これによって*REG*遺伝子発現の有無に合わせた適切な治療方法の選択が可能となるなど、患者の生命予後の向上と治療負担の適正化が期待される。また、*REG*遺伝子の働きを抑えるという全く新しい作用のがん治療薬のプロトタイプが完成する。これにより、新しい作用のがん治療薬の治験・臨床応用へのステップが視野に入ることが期待される。

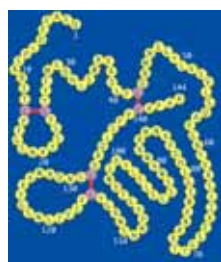
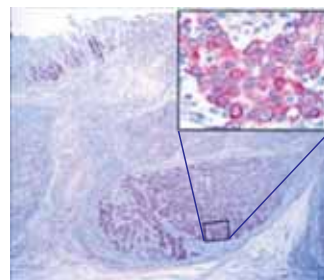
*REG*遺伝子発現によるがん細胞の増殖



*REG*遺伝子発現とがん患者の生命予後



*REG*を発現しているがん組織像



高沢プロジェクト研究室

〒989-3204 宮城県仙台市青葉区南吉成6-6-5
 科学技術振興機構 JSTイノベーションプラザ宮城 201号研究室
 TEL : 022(719)5754 FAX : 022(719)5756